

news

# 水戸医療センター

MITO  
MEDICAL  
CENTER

MITO Medical Center vol.95

## 基本理念

私たちは地域の人々より  
信頼されるよう日々研鑽し、  
安全で良質な医療を提供します

## 基本方針

- 患者さんの権利、尊厳を守ります
- 救急医療、災害医療の充実に貢献します
- 良質で専門性の高い医療を安全に提供します
- 医療従事者、医学生、看護学生の教育研修に努めます
- 医療連携を強化し地域医療に貢献します
- 臨床研究を積極的に推進します
- 健全な病院経営を心がけます

## 新年のご挨拶



院長 米野 琢哉

あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスに振り回された一年であったといえます。感染患者さんの外来、入院対応のみならず、オミクロン株の流行による職員の家庭内感染、院内クラスターの発生、時には診療制限と大変な一年でした。しかしそのような中でも、当院の4つの柱、すなわち救命救急医療・災害医療、がん医療、地域医療支援、そして明日を担う医療人の育成といった理念に基づき、地域の中で水戸医療センターとしての役割を十全に果たすことができたものと考えております。このことは地域の人々、職員、連携医療機関の皆さまのご協力あってのことです。あらためて

感謝申し上げます。また当院は昨年10月に病院機能評価、12月に高度専門機能として救急医療の評価を受審いたしました。本原稿執筆時点では正式な結果ついてまだ受領しておりませんが、すでに意見交換に際していくつかの指摘事項があり、これをきっかけにさらにより良い病院となるべく努めていきたいと考えております。

本年が、患者さん、地域の皆さん、連携医療機関の皆さまにとってよい一年となりますよう当院職員一同頑張っ参りますので、引き続きのご支援のほどよろしくお願いたします。

2023年1月1日



## 空飛ぶ救急処置室 — 茨城県ドクターヘリ —

救命救急センター長 安田 貢

水戸医療センターは、2010年7月1日に運行を開始した茨城県ドクターヘリ基地病院として12年目をむかえ、重症患者さんに対する病院前救護体制の中核を担っています。

### ●ドクターヘリとは？

年間100名以上の患者さんが当院へドクターヘリで搬送されます。緊急手術や人工呼吸管理を必要とする重症・重篤の患者さんは48%を占めています(2022年3月時点)が、治療により全搬送者の87%が軽快されています。この結果に表れるようにドクターヘリは20分以内では茨城県全域が出動可能で、渋滞もない時速200km以上のスピードがヘリ救急です。緊急・救急医療を担う我々にとって、これこそが最大の魅力であり、大きな武器であると実感しています。

### ●主たるドクターヘリ使用機体

#### BK117C-2 (川崎重工製)

巡航速度250km/hr、最高速度270km/hr、定員7名(患者含)、装備は双発ターボジェットエンジン、オートパイロット・GPS搭載など

### ●搭乗フライトスタッフ

ドクター2名(外科系・内科系)  
ナース1名の3名搭乗

### ●登録フライトドクター13名(救急科専門医11名)

救急科11名(脳神経外科1名、外科6名、循環器内科1名、麻酔科1名、小児科2名)循環器内科1名・麻酔科1名

このような運用体制であるドクターヘリは、救急患者さんの受傷や発症の早期から治療を開始し、速やかに医療機関に搬送することで、救命率の向上、後遺障害の軽減を図ることを目的としています。これからも皆さんの応援をお願いいたします。

### ●フライトドクター2名搭乗(外科系・内科系)

病院外という医療環境が整っていない現場で専門性を考慮した最適な医療を提供できるよう、外因性症例では外科系医師、内因性症例は内科系医師がイニシアチブを執り、現場活動時間が外因性事例15分間、内因性事例10分間を目標に活動しています。2名のフライトドクター搭乗は全国56機ドクターヘリ体制(2022年4月現在)のなかでも多くありません。1ドクターに比べて2人制の利点は初期診療、処置が分担でき、現場活動時間も短縮できます。また、現場活動中も、重複要請に対し、状況によってはフライトドクター1名を現場に残し、次の重複要請にフライトドクター、フライトナースで連続対応する事も可能となります。

### ●フライトナース、セカンドナースの配置

病院前救急看護の究極ともいえるフライトナースは通常1名の搭乗ですが、病院にセカンドナースが待機しています。多数傷病者要請の際は、初期の段階から医療スタッフの増員として即座に現場へ出動することが可能です。



水戸医療センターに駐機、出動待機中のBK-117 C-2 (写真：筆者)



ドクターヘリ機内の様子 (写真：杉山潔)

## 早期離床・リハビリテーションについて

集中ケア認定看護師 室星 佳子

近年、救急・集中治療領域における治療や全身管理の向上から、集中治療室（ICU）へ入室した患者さんの多くの命が救われ、生存率も改善してきました。その一方で、救命出来ても身体機能や認知機能の低下によってQOLが低下し、思い描くような社会復帰が出来ない場合もあります。このような状態は、PICS（Post Intensive Care Syndrome：集中治療後症候群）と言われており、ICU在室中や退出後に生じる運動・認知機能・精神の障害として問題になっています。このPICS予防の一つとして早期離床・リハビリテーションが期待されています。

当院では、医師、理学療法士、看護師（救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師）をチームメンバーとした早期離床・リハビリテーションチームを立ち上げ、毎朝、カンファレンスを行った後に理学療法士とICU看護師で継続的なリハビリテーションに取り組んでいます。早期離床・リハビリテーションは、運動療法による直接的な効果（筋力低下予防）と間接的な効果（せん妄予防と薬剤の減量等）が期待されています。その前提として、リハビリテーション自体が重症の患者さんに対して侵襲にならないよう

に、安全を担保した上で実施することが重要となります。そこでICU看護師はリハビリテーションを行うタイミングの見極めと環境整備、客観的な評価スケールを用いた鎮痛や鎮静評価、せん妄評価を行いながらリハビリテーションに取り組んでおります。

先日、とても嬉しいことがありました。それはICUに入院していた患者さんが職場復帰され、元気な姿でその報告に来てくださったのです。この患者さんは、ICUでECMO（エクモ：体外式膜型人工肺）を装着していました。加療後に病状が安定し、一般病棟へ転出されてからも継続してリハビリテーションを実施しました。社会復帰の背景には、御自身の頑張りと共に、医師をはじめとした多職種との協働やICUから一般病棟への連携という力も重要であると考えます。

今後も一人でも多くの患者さんが生命の危機を脱し、患者さんの望む社会復帰ができるように、ICU入室中から患者さんのQOLを見据えた早期離床・リハビリテーションに取り組んでいきたいと思っています。





## 「出前講座」地域に出向いて

メディカルコンシェルジュ 梅原 のり

水戸医療センターでは、平成28年より地域に向け「出前講座」を開始しました。

目的は地域のみなさんに対して「健康増進等の啓発活動」を通し、地域医療支援病院として、水戸医療センターが「より地域に根付いた医療機関」としての役割を果たしていきたいと思い開始しました。院内での開催ではなく、職員が地域に出向いて講義を行うことから、名称が「出前講座」となりました。

また、地域がん診療連携拠点病院として、「茨城県がん検診を推進し、がんと向き合うための県民参療条例」により児童・生徒に対するがん教育のニーズが高まり、小中学校からの「出前講座」の依頼も多くなりました。

現在、出前講座のメニューは一般向け86のメニューと、令和3年には医療関係者向けの認定看護師による18のメニューを追加しております。

テーマ別では、1位『がんについて』、2位『空

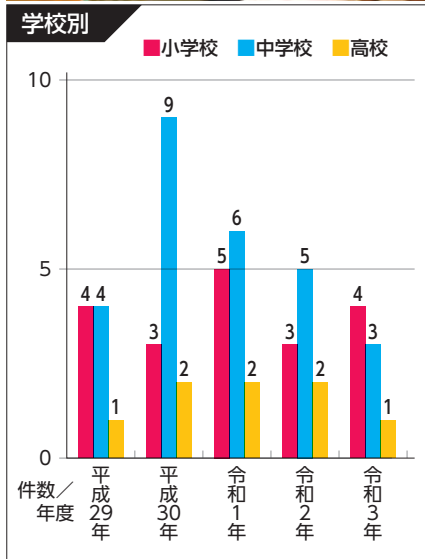
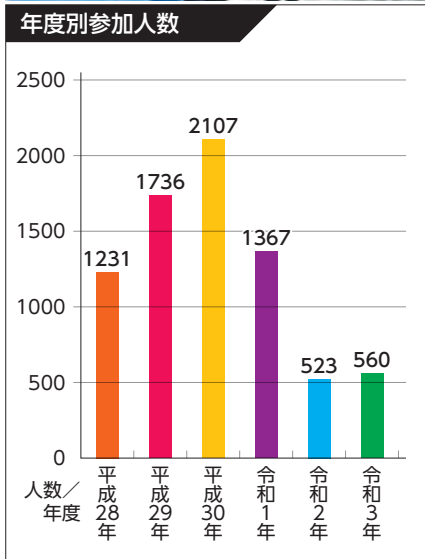
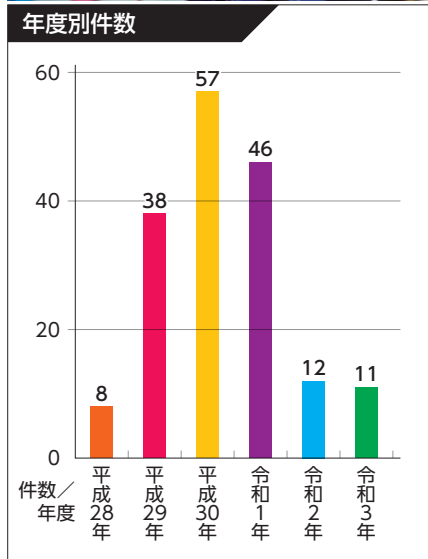
飛ぶ救急処置室(ドクターヘリ)』、3位『転倒予防!! 転ばぬ先の杖』、4位『いざという時の為に(家族・友人を守る心肺蘇生術)』、5位『もしかして家族が認知症では?と感じたら…』。

市町村別では、1位『水戸市』、2位『茨城町』、3位『鉾田市』、4位『城里町』、5位『ひたちなか市』となっています。

令和元年度(2020年1月)以降からは、新型コロナウイルス感染症が流行し感染拡大防止のため、演習を伴う講義など出向くことのできないテーマも多くなり、大変ご迷惑をおかけいたしております。

これからも、地域のみなさんの健康づくりや健康知識のお手伝いをしていきたいと、職員は日常業務を調整しながら「出前講座」に出向いていきたいと奮闘しております。

お申し込みは水戸医療センターホームページ「出前講座」をご参照ください。



## 2022年クリスマスコンサート

12月15日(木)15時頃より、クリスマスコンサートの一環として、プロヴィオラ奏者立木茂さんをお招きし、病棟を巡回してのヴィオラ演奏をしていただきました。各病棟で5～6曲を演奏し、多くの入院患者さんが美しい音色に耳を傾けていました。

昨年同様、新型コロナウイルスの影響で外来ホールでのクリスマスコンサートは行えないため、演奏を録画しそれを病室のテレビで流すことになりました。そして、18時半頃より、立木さん及び職員有志によるクリスマスコンサートの演奏録画が行われました。

コンサートでは、管弦楽で8曲を演奏しました。業務の間の短い練習時間であろうにもかかわらず素晴らしい演奏で、テレビで見る患者さんには大いに楽しんでもらえると思います。



▲演奏の様子



プロヴィオラ奏者  
立木茂さん▶

## 二科茨城支部アートスポットについて — 医療と芸術 —

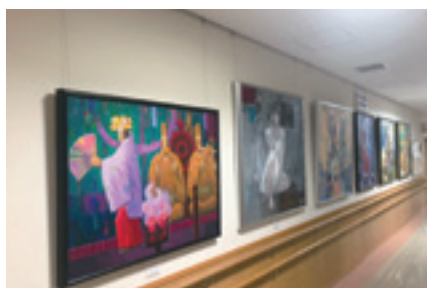
公益社団法人二科会 常務理事 / 二科茨城支部同人 山中 宣明

公益社団法人二科会は一世紀以上の歴史を持ち、梅原龍三郎、岡本太郎、藤田嗣治等日本の近代美術史の多くの巨匠を輩出してきた日本で最も大きな公募団体の1つです。

また二科茨城支部は昭和21年に日本芸術院会員であった故服部正一郎、彫刻家の飯田艇三により結成され、毎年支部展を水戸県民文化センター（ザ・ヒロサワシテイ会館）で開催し今年60回記念展を迎えます。ご縁があり水戸医療センター様のご

厚意で、10年以上に渡り二科茨城支部同人の選抜作品を毎年展示替えしながら飾らせていただいております。芸術を通して地域社会に貢献をしたいという願いを持って研鑽している同人にとりましては、何よりの機会をいただいていると感謝している次第です。

私どもの作品を通して病院に入院・通院されている患者さんをはじめ、日々医療に従事されている病院の方々に少しでも潤いと癒しを感じていただけたらこれに勝る喜びはありません。





## 医療連携紹介

当院との医療連携登録医療機関を紹介するコーナーです



# いいたけ内科クリニック

院長 飯竹 一広 副院長 飯竹 千恵

住所:水戸市見川町2131-1976 電話:029-350-1155 / 029-350-1177

### ◆院長挨拶

KKR水府病院に長く勤務した後2006年に開業しました。地域の家庭医として2名の医師で内科一般を診ています。常に患者さんにとっての最善の医療は何かを考え、必要に応じて速やかに外の専門医や病院を紹介させて頂いております。スタッフ一同、もし自分や家族だったらと患者さんの「立場に立って考え行動するよう心がけています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 【診療科目】

- 一般内科 (甲状腺疾患、糖尿病、高血圧)
- 循環器科 ■ 胃腸科

### ◆当院紹介

- ①甲状腺など内分泌疾患、糖尿病、高血圧病を中心に内科一般の診療をしています。
- ②甲状腺と腹部の超音波検査や胃の内視鏡検査(胃カメラ)も行っています。
- ③糖尿病のHbA1cの結果は約2分で判明します。
- ④電子カルテシステムで、動脈硬化の測定器や心電図、レントゲン装置もデジタルオンライン化されています。
- ⑤検査結果は画面上で見ながら説明しています。検査データは患者さんにお渡ししています。
- ⑥院内はバリアフリーになっています。

### 《院内設備》

- 電子カルテシステム ● 胃カメラ
- レントゲン撮影装置 ● 心電計
- 腹部超音波装置 ● 脈波計
- 自動血圧計 ● 呼吸機能検査
- 血球計算機 ● 血糖、HbA1c



受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 8:15~11:45	●	●	●	●	●	●	休
PM 1:15~ 3:45	●	●	休	●	●	休	休



## 医療連携紹介

当院との医療連携登録医療機関を紹介するコーナーです



# 小関外科胃腸科医院

院長 小関 廣明 住所:水戸市千波町347-1 電話:029-241-2662

### ◆院長挨拶

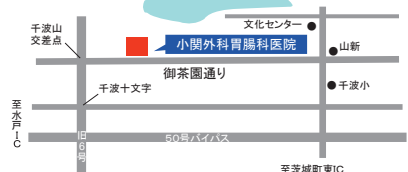
当院は昭和46年にこの地に開業して以来、地域に密着したかかりつけ医を目指してまいりました。外科・内科・胃腸科・乳腺疾患を中心に診療していましたが、幅広く皆様の健康に貢献できるよう新たに動脈硬化検査や睡眠時無呼吸症候群の診療も開始しております。水戸医療センターや水戸協同病院、水戸済生会病院などの連携をはかり、精密検査や手術・入院などについても、出来る限り患者様の希望に沿うよう努めてまいります。また当院は院内処方を採用しております。処方に関してご不明なことがございましたら、なんでもお気軽にご相談ください。皆様に快く診療を受けていただけるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 診療科目

- 外科 ■ 胃腸科 ■ 乳腺外来
- 内科 ■ 肛門科 ■ 肛門外科
- 往診、在宅医療応需

### ◆当院紹介

- 外科、胃腸科(消化器科)、内科のプライマリケアを行っています
- 外科: けが・火傷の処置(浸潤療法)、外来小手術、打撲、捻挫の治療
  - 胃腸科(消化器科): お腹病全般について
  - 内科: 風邪等の急性疾患、高血圧、糖尿病等の生活習慣病の診療、インフルエンザや肺炎球菌ワクチン接種を行っています。
  - 乳腺外来: 乳腺疾患の診療、超音波検査による乳癌検診、その他、成人病検診等の各種検診を行っています。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	休
PM 2:00~ 6:00	●	●	●	休	●	●	休

※土曜日は午後4時まで





## 診療科各科担当一覧表

2023年1月4日～

2022年12月12日作成

曜日 診療科	月	火	水	木	金	備考
循環器内科	*宇佐美 丸田(予約)	*小泉 伊藤(予約)	*丸田 小泉(予約)	*交代制 田畑(予約)	*田畑 宇佐美 (予約)	毎週月曜日12:00よりペース メーカー外来(予約制) 火曜日は入院中の院内コンサル 不可 木曜日は交代制になります 金曜日の新患は紹介状持参かコ ンサルのみ
呼吸器内科	高瀬 *筋内	遠藤 *太田	沼田 *羽鳥	遠藤 *沼田	筋内 太田	金曜日は再診のみ
消化器内科	*伊藤 *鄭	石田(予約) *下山田 *辻	山口(予約) 伊藤(予約) 秋山(予約)	鈴木(予約) 伊藤(予約)	石田(予約) *下山田 *藤川	水曜日は再診のみ 金曜日の新患は紹介患者のみ 木曜日の伊藤は予約のみ 鈴木は月1回第1木曜日に診察 秋山は月2回第2・4水曜日に診察
血液内科	交代制	*米野 吉田(近)  交代制	*水曜再診枠 米野  交代制	*堤 *吉田(近)  交代制	加村 金曜再診枠  交代制	完全予約制 コンサルテーションは火～木の 上段の医師が対応
神経内科	田代	井岡 法岡	相澤	田代 相澤	田代 法岡	月曜日の診察は再診のみ
精神科	志賀 非常勤①	志賀		志賀 非常勤②	非常勤③	
小児科	全 面 休 診					
消化器外科	武藤	加藤(丈) 福永	加藤(丈) 非常勤	福富 小林	米山 山本 福永(予約)	
乳腺外科	森		植木(予約) 森	竹内(予約)	森	水曜の植木の診察は再診のみ (従前からの受け持ち患者のみ) 木曜日の竹内は9:00～12:00 まで(予約のみ)
臓器移植外科	全 面 休 診					
呼吸器外科	稲毛(予約)		稲毛		中村	
心臓血管外科	佐久間		佐藤 相馬		佐久間 佐藤(予約) 相馬	金曜日の佐藤は予約のみ
血管疾患外来			担当医			
整形外科	上原 小林	小川 小出 森田(午後)	上原 小川(午後) 大山	小林 平林 江藤	小川(予約)	金曜日は手・肘・肩の完全予約制 入院患者は月・火・木 木曜日の江藤は奇数週のみ診察
形成外科		笠井 手口	松本 手口(予約)	笠井 手口	笠井(予約)	水曜日の手口は乳房再建のみ 水曜日:診察時間14:00～15:00
リハビリテ ーション科	上原	上原	上原	上原	上原	外来患者は直接行いません。 (整形外科に通院中の患者のみ) 入院患者の受付は毎日行います
脳神経外科	山崎 渡部	山崎 遠藤 丸山	加藤(徳) 丸山	安田(予約) 菊池	加藤(徳) 遠藤 渡部	木曜日は脊髄疾患中心、コンサル 不可 木曜日の安田は予約のみ

皮膚科	派遣医師	*矢口	*矢口	*矢口	*矢口	診察時間 9:00~11:00 月曜日は予約患者と入院コンサルのみ可。(外来コンサル不可) 外来コンサル可(火~金) アレルギー検査・生検依頼については予約要
泌尿器科	飯沼 市村 岡田 斉藤	市村		飯沼 市村 岡田 斉藤	飯沼 斉藤	
婦人科	全 面 休 診					入院患者のみ火曜日コンサル可 受付時間:8:30~11:00
産科	全 面 休 診					
眼科	平塚 関	平塚 関	平塚 関	平塚 関	平塚 関	
耳鼻咽喉科	瀬成田 吉村	瀬成田 吉村	瀬成田 島		吉村 島	水曜日の午後は腫瘍外来のみ (予約制)
麻酔科	全 面 休 診					
歯科口腔外科	当番医	渡辺 福本 高野 古阪 岩崎	渡辺 福本 高野 古阪 岩崎	渡辺 福本 高野 古阪 岩崎	当番医	外来新患は火・木のみ(地域医療 連携室利用不可) 入院患者は月・金のみ 周術期外来は月・金で予約制
放射線治療	大川	大川 村上(午後)	大川 櫻井(午後) 藤岡(午後)	大川	大川 大西(午前)	初・再診ともに完全予約制
代謝内科				高橋		入院患者のみ 診察受付時間9:00~10:00
腎臓内科					臼井	院内コンサルテーションのみ 新患不可・紹介患者不可
緩和ケア内科			稲毛			院内コンサルテーションのみ 新患不可・紹介患者不可

注 \*は新来患者を診察する医師  
注 (予約)は再診の予約患者のみの診察  
※ 診療日時については、変更となる場合がありますので、予めご承知ください。  
※ 受付時間 8:30~11:00  
※ 再来受付機 7:30~11:00 (予約の方は予約時間まで)  
※ 診療時間 9:00~  
※ 当院は全科予約制となっておりますが緊急患者・他院からの紹介患者が優先になりますのでご了承ください。

〒311-3193 茨城町桜の郷280  
国立病院機構 水戸医療センター  
TEL.029-240-7711(代表)

## 水戸医療センター 非常勤事務助手(医師事務作業補助者)募集について

事務業務から、医療に関わる。貴方の能力を当院で発揮しませんか？

### 募集要項

- 【職種】** 非常勤事務助手  
**【期間】** 採用日~年度末  
原則として年度更新を予定  
**【試用期間】** なし  
**【場所】** 水戸医療センター  
(職員数873名 R4.12.1現在)  
**【業務】** 書類作成、窓口受付業務  
電話対応など  
**【資格】** 簡単なExcel・Wordの利用  
\*一般事務経験があれば尚可

- 【給与】** 時給990円 その他諸手当あり  
**【時間】** 8時30分(固定)~17時15分の間で  
6時間程度、週32時間  
休憩30分~60分(規程に従う)  
勤務…週5日  
**【休日】** 土・日・祝、年末年始  
**【応募】** ①履歴書(様式自由)  
\*写真を必ず添付すること  
②職務経歴書(任意)を当院採用担  
当宛郵送。書類選考通過者のみ今  
後の選考について連絡いたします。

### 待遇

賞与年2回(74,400円/前  
年度実績)、交通費規定内支給、社会保  
険完備、制服貸与、育児介護休業取得  
実績あり、マイカー通勤可(駐車場あり)

### 連絡先はこちら

〒311-3193  
茨城県東茨城郡茨城町桜の郷280番地  
水戸医療センター 採用担当宛  
TEL:029-240-7711

その他職種についても募集あり!  
詳細は当院HPをご確認ください。

発行責任者 ● 院長 米野 琢哉 編集責任者 ● 事務部長 藤田 順一 印刷 ● (株)高野高速印刷

独立行政法人 国立病院機構 水戸医療センター TEL.029-240-7711 FAX.029-240-7788  
[URL] <http://www.hosp.go.jp/~mito-mc/>